

江戸川区立保育園給食調理業務委託に関するQ & A

	質問	回答												
< 調理業務従事者について >														
1	提案依頼書の業務時間帯に原則 8 時から 17 時の勤務と書かれていますが、その時間を超えての勤務は可能ですか。	原則 8 時から 17 時、延長保育実施園は原則 8 時から 19 時の勤務をお願いしております。それを超えての勤務をご希望の場合は、事前に保育課との協議が必要となります。												
2	日曜日の業務時間帯を教えてください。	日曜日につきましては 9 時から 17 時までとなります。ただし、保育園の状況により、休日保育に限り午後の補食準備・検食等終了し、保育園に引渡し完了した時点での半日程度の勤務を可とする。												
2	現職員の時間帯別勤務状況を教えてください。	時間帯ごとの勤務状況（調理・調理補助） <table border="1"> <tr> <th></th><th>午前</th><th>午後</th></tr> <tr> <td>平日</td><td>3 ～ 4 名</td><td>2 ～ 3 名</td></tr> <tr> <td>土曜日</td><td colspan="2">1 ～ 2 名</td></tr> <tr> <td>日曜日</td><td colspan="2">1 名以上</td></tr> </table> <p>日曜日は半日程度の場合あり。</p>		午前	午後	平日	3 ～ 4 名	2 ～ 3 名	土曜日	1 ～ 2 名		日曜日	1 名以上	
	午前	午後												
平日	3 ～ 4 名	2 ～ 3 名												
土曜日	1 ～ 2 名													
日曜日	1 名以上													
3	休暇等で正社員が欠ける場合は、正社員の代替が必要ですか。	原則として正社員の代替は正社員が、パート社員の代替は正社員もしくはパート社員が望ましいが、やむを得ない場合は正社員の代替にパート社員でも可能。												
4	「保育園の給食調理業務の実務経験 1 年以上」について、病院福祉施設又は学校給食などの集団給食の実務経験も保育園と同等とみなすことは可能ですか。	同等とはみなしません。												
5	車、バイク、自転車での通勤は可能ですか。	通勤は可能ですが、区立保育園には車・バイクの駐車スペースはありません。自転車の駐輪場は使用可能です。												
6	休憩室は時間帯で分けは可能ですか。	時間帯での分けはできませんので、委託園職員と共同使用となります。												
7	男性社員、女性社員それぞれの更衣室は用意されていますか。	施設の都合上、女性社員の更衣室は用意できますが、男性社員の更衣室の用意はできない場合があります。												
< 献立について >														
1	おやつ、行事食を含む献立表を提示してください。	希望される場合は、参加申込書提出後に保育課窓口でお渡しします。												
2	献立サイクルを教えてください。	1 か月の中で 2 週間毎のサイクルメニューを実施しています。												

	質問	回答
< 配膳について >		
1	各園の配膳方法を教えてください。	各園ともに、配膳ワゴンにクラスごとの食数分を器に盛り付けて配置します。 また、保育室への運搬は、保育園の職員が行います。
2	配膳ワゴンは何台ありますか。	船堀第二保育園：5台
3	昼食の配膳順を教えてください。	通常低年齢クラスより配膳しますが、各クラスの活動によって前後する場合があります。
< アレルギー対応について >		
1	対応方法を教えてください。	原因食品を除いた給食を提供します。 調理作業工程で除去できない場合には、当該料理の代替品持参を保護者にお願いします。 一部代替品提供あり
2	配膳方法を教えてください。	取り違えや誤配膳防止のため、調理業務従事者間で確認（複数人同時確認）を行い、アレルギー専用個別トレーや食器、確認票等を使用して配膳します。
3	対応品目を教えてください。	除去食の対応品目は主に卵・乳・小麦・大豆・えび・かに・ごまです。 国際的習慣等の対応あり
4	今回委託園のアレルギー食対応園児数を教えてください。	平均は1園あたり5人です。 委託園の状況は、選定後にお知らせします。
5	アレルギー対応専用の調理器具はありますか。	ありません。
6	休日保育におけるアレルギー面談について教えてください	日曜日の給食は極力アレルゲンを使用しない献立を立案していますが、念のため日曜日の受入が決まった際に、アレルギーについて確認をし、必要に応じて面談を行います。
7	「江戸川区立保育園給食食物アレルギー対応食等提供事業実施要領」を提示してください。	希望される場合は、参加申込書提出後に保育課窓口で閲覧できます。
< 調理作業について >		
1	非常食訓練について、提供する食事はどのような内容ですか。	各保育園で備蓄している非常食（アルファ米、缶詰、レトルト食品等）を給食として実際に提供します。
2	水分補給について、受託事業所はどのような対応を行いますか。	午前中に水分補給用の麦茶を作ります。不足する場合は随時追加の麦茶を作ります。
3	夕食の提供はありますか。	ありません。
4	離乳食の提供はありますか。	ありません。 離乳完了期程度の切り方等の対応あり

	質問	回答
5	おかわり対応は行っていますか。	出席人数によっておかわり対応することもあります。
< その他委託業務について >		
1	発注業務はパソコンを使用しますか。	発注量の算出はパソコンを使用し、注文書の作成は手書きで行います。
2	調理従事者は、給食を喫食できますか。	区立保育園では、職員（調理職員を含む）は給食を喫食していません。
3	食材の納品時間を教えてください。	おおむね、8時から9時30分です。 生鮮食品以外の食材（乾物・缶詰等）は前日までに納品されるものもあります。 日曜日分につきましては前日に納品されます（日曜日は生肉・生魚は使用しない献立となります）。
4	行事食等で使用する弁当容器やカップなど、日常的に使用しない消耗品の費用は、どちらで負担しますか。	受託事業者が負担します。
5	グリストラップの清掃費用はどちらで負担しますか。	数ヵ月に1度の定期清掃分は区が負担します。
< 関係書類について >		
1	〔別紙3〕江戸川区立保育園給食調理業務委託要求仕様書4（1）“コ 調理を伴う食育への協力”について、どのようなことをしていますか。	食育の取り組みは保育園ごとに異なります。具体例は次のとおりです。 例）園児による野菜の皮むきの準備、夏祭りの出店遊びへの参加、保護者向け食育講座の試食調理
2	作業工程表の枚数は、企画提案書の頁数に含みますか。	含みません。
3	「江戸川区立保育園給食衛生管理マニュアル」を提示してください。	希望される場合は、参加申込書提出後に保育課窓口で閲覧できます。
4	給食室の図面を提示してください。	希望される場合は、参加申込書提出後に保育課窓口でお渡しします。
< 医療的ケア児について >		
1	医療的ケア児への給食はどの程度の柔らかさで提供しますか。	離乳食（中期食）位の形状から喫食者に合う状態で提供をします。
2	医療的ケア児を受け入れるにあたって、給食提供に必要なとなる備品は準備していただけますか。	完成した料理を対象児に適した状態にするために必要な器具類等は必要に応じて準備をしていきます。

	質問	回答
3	医療的ケア児とは、どのような園児を想定していますか。	<p>医療的ケア児は、胃ろう・経鼻胃管からの経管栄養や痰の吸引、導尿などのケアが必要な園児を指します。例としては、ペースト状などの食形態の工夫が必要な中、それだけでは十分な栄養摂取ができないため、経管栄養を併用しているケースや、病状が安定してきているため、経管栄養から経口摂取に移行し、初期食から開始するなどのケースが想定されます。</p> <p>実際の提供は、離乳食（中期食）くらいの形状からになります。</p>
4	医療的ケア児の対応は、医師の立会が必要なのではないのでしょうか。	<p>区立保育園で対応する医療的ケアは、日常生活に必要とされている医療的な生活援助行為を指します。治療行為として医療機関で実施する医療行為とは区別しています。病状が安定しており、医療的ケアが日常生活の一部として保護者、園児に定着していること、主治医により集団生活が可能と認められていることなどが受入れの条件にあります。受け入れにあたり、主治医、保育園嘱託医に指示書を作成してもらい、その指示書に基づき、看護師が医療的ケアを実施するため、医師の立ち合いは原則不要です。</p> <p>必要時、主治医、訪問看護などの関係機関と連携を図っていきます。</p>
5	医療的ケア児は何名受け入れる予定ですか。	原則 1 名です。ただし、保育園の状況等によってそれ以上になる可能性もあります。
6	経管栄養では、何を注入しますか。	<p>滴下での注入を基本として、半固形化栄養剤のシリンジ注入も可能とします。</p> <p>注入物は、品質が保証され、指示書に品名を明記することができる市販又は処方されたものが対象となります。</p> <p>ミキサー食の注入は、現時点では実施しません。</p> <p>この行為は保育課が配置した医療職が行う予定です。</p>
7	食形態はどのように移行していきますか。	食形態の移行は、病状により一時的に工夫が必要となる場合や、初期食から段階的に移行していく場合もあります。